

龍馬とクラウド戦略

2010年11月5日

ITCイースト東京
理事 坂本 徳明



論点

- ❁ クラウドをとおして垣間見られるうねりの本質は何か
- ❁ ITコーディネータは、そのうねりをどのように乗りきるのか
- ❁ 激変の幕末を生きた坂本龍馬をとおして一考する



「龍馬伝」と「竜馬がゆく」

- ❁ 平井加尾とお田鶴さま
- ❁ 乾分 寝待の藤兵衛
- ❁ 勝海舟との出会い
- ❁ Fighter Idealist Peasemaker
- ❁ 清風亭会談 「シェイクハンドじゃ」
- ❁ 人物像 後藤象二郎 岩崎弥太郎 その他

おさらい幕末

- ❁ 尊皇攘夷 公武合体 勤王の志士
- ❁ 幕末の雄藩
- ❁ 幕末の四賢候
- ❁ 寺田屋 池田屋 そして近江屋



年表で確認 幕末のうねり

天保13	1842	アヘン戦争 清、半植民地化へ
嘉永6	1853	黒船来航
安政5	1858	日米修好通商条約締結
万延1	1860	桜田門外の変
文久2	1862	皇女和宮降嫁
文久3	1863	会薩同盟 長州、京都から追放
元治1	1864	池田屋事件 禁門の変 四力国連合艦隊長州攻撃 西郷隆盛・勝海舟会談
慶応2	1866	薩長同盟 第二次長州征伐
慶応3	1867	大政奉還 王政復古の大号令
慶応4	1868	戊辰戦争 江戸城無血開城

幕府、衝撃を受ける

攘夷・開国論争

安政の大獄、攘夷派弾圧

幕府弱体化

尊王攘夷vs公武合体

公武合体、尊王攘夷

長州の暴走激化

長州、攘夷から開国へ

西郷、倒幕に傾く

倒幕のうねり

幕府の権威失墜

公武合体派の切札

倒幕派の切札

薩長主体の政府へ

大きなうねりの構図

欧米列強の開国要求・軍事的脅威

開国

- ・力の差は歴然
鎖国継続は無理
- ・幕府に恩顧

公武合体

攘夷

- ・開国に反対
- ・幕府に反感

尊皇攘夷

航海遠略策

佐幕

大政奉還

武力倒幕

鳥羽伏見の戦い 戊辰戦争

明治維新

小さなうねりの構図

欧米列強の開国要求・軍事的脅威

長州

開国

尊皇攘夷
幕府恭順
倒幕

薩摩

開国

公武合体

倒幕

幕府

開国

公武合体

大政奉還

土佐

開国

尊皇攘夷
公武合体
大政奉還

龍馬

開国

倒幕

大政奉還

鳥羽伏見の戦い 戊辰戦争

明治維新(薩長中心)

幕末騒乱の本質

- ❁ 神州思想への執着
- ❁ 国際情勢(脅威)に対する無知
- ❁ それぞれの立場・利害に執着
- ❁ 幕藩封建体制の弱体化
- ❁ 有能な人材を抹殺



司馬遼太郎の龍馬感

- ❁ 少なくとも幕末に日本人は存在しなかった

徳川時代の藩というものは、他藩に対して疑い深く、競争心が強く、常に自藩中心で同じ日本人という思想は皆無であった

- ❁ 幕末で日本人は坂本龍馬だけだった

年表でみる龍馬

嘉永6	1853	19	剣術修行で千葉道場入門
安政1	1854	20	河田小龍より世界観学ぶ
安政5	1858	24	北辰一刀流免許皆伝
万延1	1860	26	勝海舟、咸臨丸で渡米
文久1	1861	27	土佐勤王党に入る
文久2	1862	28	脱藩 勝海舟に弟子入り
文久3	1863	29	神戸海軍操練所開所
元治1	1864	30	西郷隆盛と親交
慶応1	1865	31	神戸海軍操練所閉鎖 亀山社中創立
慶応2	1866	32	薩長同盟立会 寺田屋で襲撃される 下関海戦参戦
慶応3	1867	33	清風亭で後藤象二郎と会談 海援隊創立 大政奉還成就に奔走 近江屋で襲撃され死亡

攘夷・開国論争

安政の大獄,攘夷派弾圧

幕府弱体化

尊王攘夷vs公武合体

公武合体、尊王攘夷

長州の暴走激化

長州、攘夷から開国へ
西郷、倒幕に傾く



龍馬の背景

- ❁ 町人郷士の次男坊
- ❁ 土佐藩の厳格な身分制度
- ❁ ジョン万次郎が身近な存在
- ❁ 裕福な家庭



龍馬語録

- ❁ 「業半ばで倒れるときは、目標の方角に向かい、その姿で倒れよ」
- ❁ 「薩摩がどうした、長州がなんじゃ。要は日本ではないか」
- ❁ 「しかない、というものは世にはない。人よりも一尺高くから物事をみれば、道はつねに幾通りもある」
- ❁ 「男子はすべからく酒間で独り醒めている必要がある。しかし同時に大勢と一緒に酔態を呈しているべきだ。でなければ、大事業は成せぬ」

龍馬の志

❁ ビジョン

- 自由経済
- 日本の独立維持
- 勤王共和による統一国家の樹立

❁ 戦略

- 海運通商による富国強兵
- 脱藩浪士の活用



龍馬の戦法

- ❁ 幕藩に属さず
- ❁ 一級品の師を選ぶ
- ❁ 組織を超えた人脈づくり
- ❁ 他人の禪で相撲をとる



夢のかたち 海援隊

- ❁ 脱藩者で構成
- ❁ 隊員みな平等
- ❁ 学歴より学力
- ❁ 専門技能を極める



龍馬のすごさ

- ❁ 失業者がたったひとりで大組織を動かした
- ❁ 剣術家 剣
- ❁ 起業家 軍艦・蒸気船
- ❁ 思想家 万国公法



龍馬に学ぶ

❁ グローカリズム

- グローバルな感覚を持ち
ナショナルな問題意識を忘れずに
ローカルに生きる

❁ メタモルフォーゼ

- 自己否定と脱皮でその先の世界を生き抜く



さて現代 企業を取り巻く環境

- ❁ 戦後60年モデルの限界
- ❁ 経済生態系崩壊の危機
- ❁ 変化する国民の価値観
- ❁ 求められるものは
「自己否定」と「グローカリゼーション」



「規模」だけで区切って全国一律に論じる中小企業政策
主に既存構造の維持・救済・延命が前提

転換

21世紀 中小企業ニューディール政策

「文明型」戦略

- グローバル化・ボーダーレス化
- 経営資源の世界レベル最適配置
- 中小企業も海外へ、国内に残る場合は技術パートナーへ
- 絶えざる自己否定

相乗効果
・
転換

「文明型」戦略

- 地域密着・土着性が世界に光り輝く
- 和のライフスタイル、地域の歴史・文化の再認識・再評価
- 地産地消、地域一体
- 自尊・自立

共通基盤整備(地方分権、金融、税制など)

『中小輝業』創出

中小輝業

中小輝業

中小輝業

中小輝業

中小輝業

中小輝業

中小輝業

中小輝業

おさらい インターネット

- ❁ ワールドワイドウェブ
- ❁ ウェブ2.0
- ❁ エンタープライズ2.0



そしてクラウド

- ❁ 見え始めたジグソーパズル
- ❁ 今までの当たり前、実は不都合な真実
- ❁ 今までとは異質な波
- ❁ あるCIOの決断



ドラッカーが描いた知識社会

- ❁ IT革命は、今日までのところ、IT革命以前から存在していたもののプロセスを変えたにすぎない
- ❁ 真のIT革命により、資源が資本と労働力から知識に変わり知識が生産手段となり、価値の創造は知識と知識の組み合わせから生じる

龍馬の眼でクラウドを捉えると・・・

- ❁ グーグルっちゅうのが常識を変えちゃうらしい
- ❁ あっちがこっちに“開国”を迫っちゅう
- ❁ わしらも価値観を変えんといかんぜよ
- ❁ IT革命(“維新”)はこれからじゃ



龍馬がITコーディネータだったら・・・

- ❁ まずは師を選び学ぶ
- ❁ 視座を変えて考える
- ❁ “脱藩”する
- ❁ 変態する



ITCのクラウド戦略

- ❁ 起業家精神
- ❁ チームの力
- ❁ 技術への造詣
- ❁ グローカリズム
- ❁ メタモルフォーゼ



ご清聴ありがとうございました

